

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2026年7月

フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

設定日: 2020年8月21日

信託期間: 原則として無期限

決算日: 原則として毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンドの
紹介ページは
こちらから

■基準価額・純資産総額の推移

	2026/6/30	2026/5/29
基準価額	18,776 円	18,434 円
純資産総額	369.4 億円	364.3 億円
累積投資額	18,776 円	18,434 円

基準価額 (月中)	高値	18,803 円	(6月15日)
	安値	18,311 円	(6月9日)
基準価額 (設定来)	高値	18,803 円	(2026年6月15日)
	安値	9,703 円	(2020年9月25日)
累積投資額 (設定来)	高値	18,803 円	(2026年6月15日)
	安値	9,703 円	(2020年9月25日)

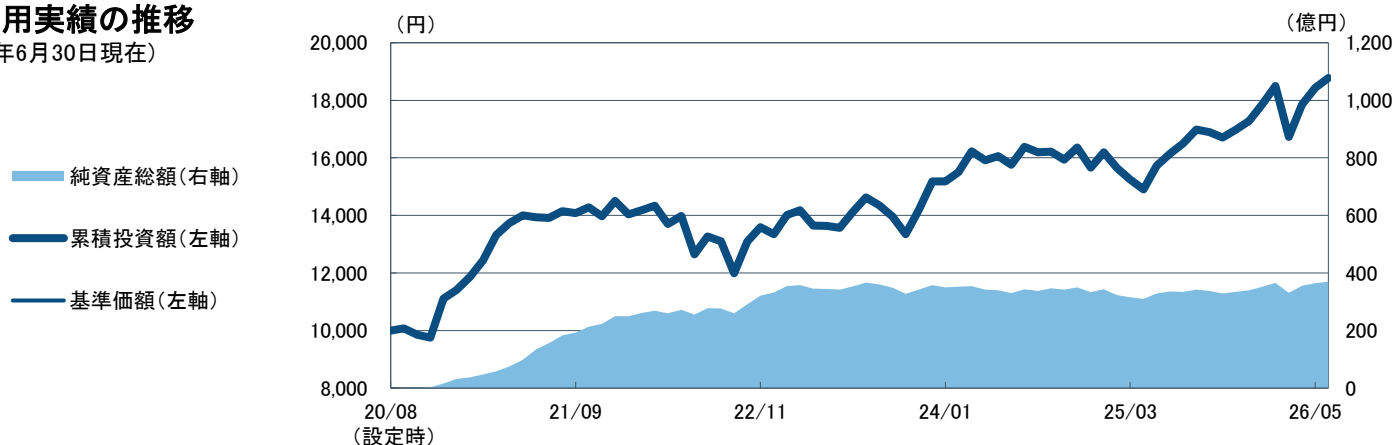
■累積リターン

(2026年6月30日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.86%	12.24%	8.62%	16.32%	32.99%	87.76%

■運用実績の推移

(2026年6月30日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2026年6月30日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2020年12月7日	0 円
第2期	2021年12月6日	0 円
第3期	2022年12月6日	0 円
第4期	2023年12月6日	0 円
第5期	2024年12月6日	0 円
第6期	2025年12月8日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2026年7月

フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

設定日:2020年8月21日

信託期間:原則として無期限

決算日:原則として毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■基準価額・純資産総額の推移

	2026/6/30	2026/5/29
基準価額	31,716 円	30,820 円
純資産総額	2,191.9 億円	2,103.6 億円
累積投資額	31,716 円	30,820 円

基準価額 (月中)	高値	31,716 円	(6月30日)
	安値	30,677 円	(6月9日)
基準価額 (設定来)	高値	31,716 円	(2026年6月30日)
	安値	9,674 円	(2020年9月24日)
累積投資額 (設定来)	高値	31,716 円	(2026年6月30日)
	安値	9,674 円	(2020年9月24日)

■累積リターン

(2026年6月30日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.91%	14.31%	12.66%	30.92%	66.30%	217.16%

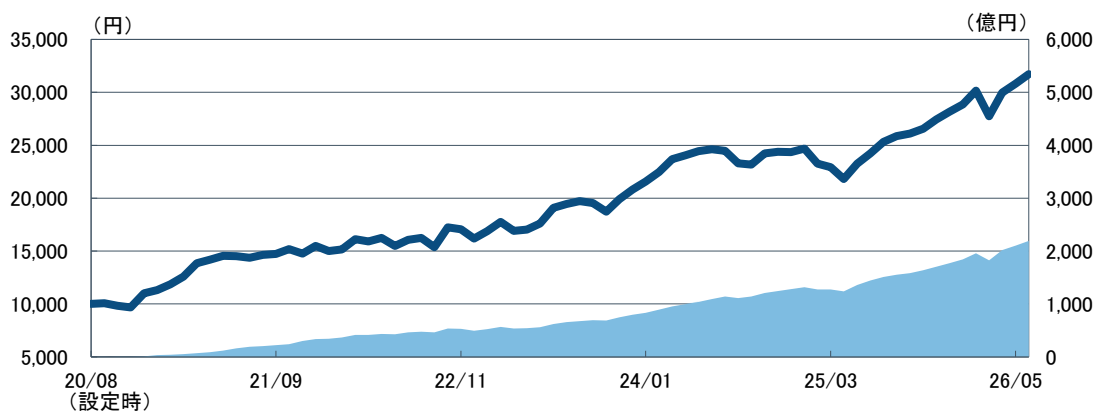
■運用実績の推移

(2026年6月30日現在)

純資産総額(右軸)

累積投資額(左軸)

基準価額(左軸)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2026年6月30日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2020年12月7日	0 円
第2期	2021年12月6日	0 円
第3期	2022年12月6日	0 円
第4期	2023年12月6日	0 円
第5期	2024年12月6日	0 円
第6期	2025年12月8日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2026年7月

■ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

(2026年6月30日現在)

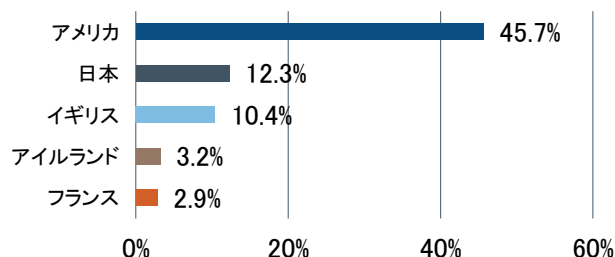
◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 554)

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	ルネサスエレクトロニクス	日本	情報技術	1.1%
2	パフォーマンス・フード・グループ	アメリカ	生活必需品	1.0%
3	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	1.0%
4	PG&E	アメリカ	公益事業	0.9%
5	DCC	アイルランド	エネルギー	0.8%
6	ステート・ストリート	アメリカ	金融	0.8%
7	シルガン・ホールディングス	アメリカ	素材	0.8%
8	プリモ・ブランド	アメリカ	生活必需品	0.8%
9	アリマントーション・クシュタール	カナダ	生活必需品	0.8%
10	GSK	イギリス	ヘルスケア	0.7%
上位10銘柄合計				8.7%

◆資産別組入状況

株式	97.5%
投資証券	0.9%
現金・その他	1.6%

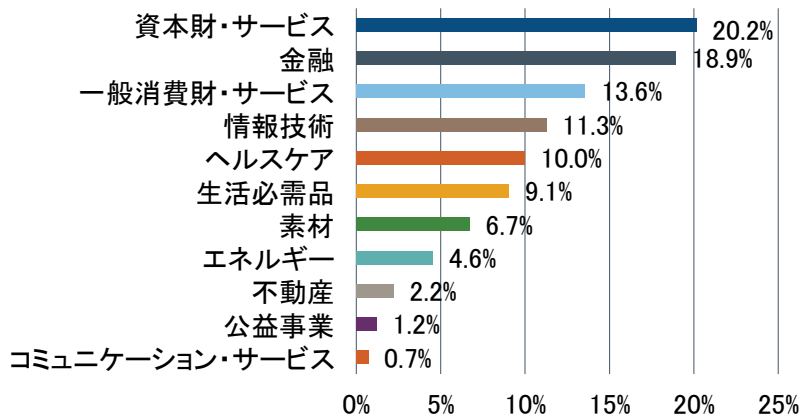
◆組入上位5ヶ国・地域



◆通貨別組入状況

アメリカ・ドル	51.4%
日本・円	12.3%
イギリス・ポンド	12.0%
ユーロ	10.2%
カナダ・ドル	2.4%
その他	11.6%

◆業種別組入状況



(対純資産総額比率)

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※国・地域は発行国・地域を表示しています。

※業種はMSCI/S&P GICS*のセクターに準じて表示しています。

*MSCI/S&P GICSとは、スタンダード・アンド・プアーズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)です。

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

月次運用レポート



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

2026年7月

◆(ご参考)ポートフォリオの特性値

(2026年6月30日現在)

	ファンド	(参考指数) MSCIワールド・インデックス
予想株価収益率(倍)	11.9	19.1
株価純資産倍率(倍)	2.0	4.2
1銘柄当たり加重平均時価総額 (10億米ドル)	38.5	1041.3

※フィデリティ・インベスメンツより提供されるデータをもとにフィデリティ投信が作成しています。

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

■コメント

(2026年6月30日現在)

◆市場概況

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で-0.04%。

米国では、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げ懸念の高まりなどを背景に下落しました。米供給管理協会(ISM)製造業景気指数が改善したことなどを背景にこれまで出遅れていた小型株や景気敏感株が相対的に堅調に推移した一方で、好調が続いていたAI関連銘柄の上値が重くなりました。欧州では、米国とイランを巡る緊張が緩和され、原油高が景気や企業業績を下押しするとの懸念が後退したこと、テクノロジー関連を中心に上昇しました。日本でも、地政学リスクへの懸念後退や、金融政策決定会合を無難に通過したことが支援材料となり、AI・半導体関連株を中心に上昇しました。TOPIXと日経平均株価はともに史上最高値を更新しました。

業種別の騰落率(参考指数ベース)についてはヘルスケアや金融が上昇した一方、コミュニケーション・サービスやエネルギーが下落しました。

米ドル/円相場は、約2.09%の円安(1米ドル=159.19円→162.53円)。

ユーロ/円相場は、約0.03%の円安(1ユーロ=185.77円→185.81円)。

(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

◆今後の見通し

グローバルのマクロ経済では地政学リスクやインフレの高止まりが引き続き意識されており、株式市場では一時的に調整する局面も見られます。一方で、企業業績は成長基調を維持しています。その中でもAI関連の設備投資は依然として活発であり、相場を支える主要なテーマとなっています。対照的に、AI以外の分野や中小型の銘柄においては、関税政策や景気の先行き不透明感が重しとなり、株価の出遅れが見られます。そのため、地域別に見ると米国以外の市場に相対的な割安感が見られるほか、米国内においても先行きへの懸念を過度に織り込んだ投資機会があると考えています。先行きが不透明な環境においても、変化に適応できる企業は中長期的に勝ち残り、持続的に成長することが期待されるため、株価の変動は長期的な投資にとって大きなチャンスとなります。企業の本質的な価値に照らして合理的かつ忍耐強く投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

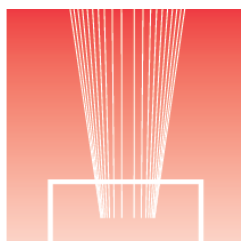
※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

モーニングスター・アワード2026 運用会社アワード受賞

フィデリティ投信は、
厳選された優れたパフォーマンスを持つ運用戦略を
日本の投資家の皆様に提供している点が高い評価を受け、
モーニングスター社が表彰する、
最も優れた運用会社にとえられる

2026年 モーニングスター 運用会社アワード

を受賞しました。



Awards
2026™

©2026 Morningstar. 無断複写・転載を禁じます。本情報、データ、分析、および意見は、(1) Morningstar、その関連会社、および／またはコンテンツプロバイダーの機密情報および専有情報を含み、(2)複製または再配布することはできません、(3) Morningstarが提供する投資助言を構成するものではなく、(4)情報提供のみを目的としており、証券の売買の勧誘を構成するものではなく、(5)完全性、正確性、および適時性を保証するものではありません。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。Morningstar、その関連会社、またはコンテンツプロバイダーは、本情報、データ、分析、または意見、あるいはそれらの使用または配布に起因または関連するいかなる取引の判断、損害、その他の損失についても責任を負いません。

フィデリティ投信 LINE公式アカウント

フィデリティ投信LINE公式アカウントは、ファンドに関する「マンスリーニュース」や「スペシャルレポート」など、マーケット情報を定期的にお届けします。



当社ホームページ



フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

ファンドの特色

- 1 フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ^{*}」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。
^{*} ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
 Bコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

[運用の委託先]

マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
FIAM LLC(所在地:米国)	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主たるリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	Aコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行なわないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
カントリー・リスク	投資対象国及び地域の政治・経済・社会情勢等の変化、証券市場・為替市場における脆弱性や規制等の混乱により、有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。税制・規制等は投資対象国及び地域の状況により異なり、また、それらが急遽変更されたり、新たに導入されたりすることがあります。これらの要因により、運用上の制約を受ける場合やファンドの基準価額の変動に影響を与える場合があります。なお、新興国への投資は先進国に比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)

Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)

追加型投信／内外／株式

その他の留意点

●**クーリング・オフ**: ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

●**流動性リスク**: ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要がある場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

●**デリバティブ(派生商品)に関する留意点**: ファンドは、ヘッジ目的の場合等に関し、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

●**分配金に関する留意点**: 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

●**購入・換金申込受付の中止及び取消しについての留意点**: 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策の変更や資産凍結を含む規制の導入、クーデターや重大な政治体制の変更等))があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)
Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)
追加型投信／内外／株式

ファンドに係る費用

購入時手数料	ありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年0.8635%(税抜0.785%)以内 の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・手数料	組入有効証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
信託財産留保額	ありません。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドに係る費用の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他のファンド概要

基本的性格	追加型投信／内外／株式
信託設定日	2020年8月21日
信託期間	原則として無期限
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。
決算日	原則、毎年12月6日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 収益分配金は、税引き後無手数料で再投資されます。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

フィデリティ・世界割安成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)
Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)
追加型投信／内外／株式

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人資産運用業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
運用の委託先	FIAM LLC(所在地:米国)
販売会社	野村證券株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第142号 【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／一般社団法人 金融先物取引業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本STO協会

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)(野村SMA・EW向け)／Bコース(為替ヘッジなし)(野村SMA・EW向け)が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き等の影響(外貨建の資産には為替相場の変動による影響もあります。)により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

FACTPD 260417-2